

## プレ発表会 土構造物耐震化研究委員会 第2回 ワークショップ 説明資料

平成25年7月22日(月)、富山市民プラザ4F アンサンブルホール(富山市)におきまして、土構造物耐震化研究委員会主催にて「第2回 ワークショップ」を開催いたしました。

当日は第48回地盤工学研究発表会の前日にもあたり、多くの参加者にお集まりいただきました。

当日講演者が使用しました説明資料をPDFファイル形式にて学会サーバにアップいたしました。下記プログラムの各発表者名にリンクさせておりますので、ご閲覧ください。

### プログラム

13:00～13:25: 委員長の挨拶・方針の説明

[龍岡文夫](#) (東京理科大学)

13:25～15:05: WG 1 (戸建て住宅)

司会: [安田 進](#) (東京電機大学)

- ・低地の液状化による宅地の被害と復旧, 対策
  - 低地の液状化による宅地の被害形態とメカニズム  
[橋本隆雄](#) (千代田コンサルタント)
  - 宅地の液状化対処方法  
[大林 淳](#) (不動テトラ)
- ・丘陵地の造成盛土宅地の被害と復旧, 対策
  - 丘陵地の造成盛土宅地の被害と復旧, 対策  
[佐藤真吾](#) (復建技術コンサルタント),
  - 被害メカニズムの分析 (団地全体の地震応答、戸建住宅の傾斜量)  
[若井明彦](#) (群馬大学)
  - 被災造成宅地の復旧・耐震対策工法  
[門田浩一](#) (パシフィックコンサルタンツ)
- ・液状化によるライフライン及び道路の被害と復旧対策
  - 液状化によるライフライン(上・下水道、ガス、電気、通信および道路)の被害と復旧、対策  
[足立有史](#) (安藤ハザマ)
  - 揺動の被害状況とメカニズムについて  
[安田 進](#) (東京電機大学)
- ・液状化の実務的な予測法の見直し
  - 低コスト・高精度な地盤調査法に基づく宅地の液状化判定  
[大島昭彦](#) (大阪市立大学)
  - OSDS試験法を用いた安価かつ簡易な液状化判定法—地層、地下水位、RLをサウンディングから直接求める方法の試み—  
[柳浦良行](#) (基礎地盤コンサルタンツ),
  - 動的貫入試験による経済的で高精度な液状化調査法の研究開発- Piezo Drive Cone –  
[規矩大義](#) (関東学院大学)

15:20～16:50: WG 2 (社会基盤施設)

司会: [古関潤一](#) (東京大学)

- ・全体説明  
OWG2の活動方針と活動経緯  
[古関潤一](#) (東京大学)
  - ・既設土構造物の耐震性能とその診断・評価法の検討
    - 補強土壁の耐震性および維持管理  
[桑野二郎](#) (埼玉大学)
    - 既設土構造物の耐震性能とその診断・評価法の検討  
[澤田俊一](#) (応用地質)
  - ・土構造物の耐震補強の効果とその評価法の検討
    - 補強原理・補強効果とその評価法に関する整理中間報告  
[藤原斉郁](#) (大成建設)
    - <[整理表](#)> <[参考文献](#)>
- ※本報告でお知らせしました整理表への工法追加希望等のお問合せは、下記までお願いします。  
【[tadafumi.fujiwara@sakura.taisei.co.jp](mailto:tadafumi.fujiwara@sakura.taisei.co.jp) : 藤原委員】

16:50～17:00 全体のまとめ

[龍岡文夫](#) (東京理科大学)